

【2020年度9月修了希望者対象】 修士論文の提出資格・作成様式等

文学研究科

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、修士論文・題目届の作成・提出方法を変更します。
製本作業・提出に伴う外出や人との接触を避けるため、対面での提出を中止し、製本は行わずにデータ提出とします。以下のルールに従って作成・提出してください（従っていない場合は受理しません）。
データ提出に伴い、文学学術院事務所で「修士論文審査依頼書」の配布は中止します。
別途、指導教員の指示がある場合は、その方法に従ってください。

1. 提出資格

- ① 所定単位取得済あるいは取得見込であること。
- ② 「修士論文計画書」および「修士論文題目届」を提出済であること。
- ③ 研究倫理教育を受講済であること。

2. 「修士論文題目届」の提出方法について

指導教員との捺印・サインのやり取りや題目届提出に伴う外出を避けるため、紙媒体での提出を中止します。また、外出自粛に由来する研究の遅れ等を考慮し、題目届の提出期間も例年より遅らせ、論文そのものの提出期間と同じ期間に設定しています。題目届はメールに添付して文学学術院事務所に提出してください。その際、指導教員が確認したことがわかる根拠書類（メールのやり取り等）も必ず添付してください。もしくは、指導教員がメール添付で提出してください。（論文データの題名と題目届の題名は一字一句同じにしてください。）

メールのタイトルは、「2020年度9月修了 修士論文題目届」としてください。

【フォーマット】

https://www.waseda.jp/flas/glas/assets/uploads/2020/05/202009_master_daimoku.doc

【提出先】 toyama-seiseki@list.waseda.jp

- 過去に「題目届」を提出した学生も、再度提出してください。
- 「題目届」提出時は、主題のみの記載としてください。論文提出時には副題を付すことが可能です。

3. 修士論文・修士論文概要書の作成について

- ① 提出データは1人1データとすること（見返り紙（白紙）は不要）。
- ② データ形式は「PDF」とする。
修士論文はB5判またはA4判とし、図・表などを含む場合は、同一データ内に収まるように工夫すること（どのような仕上がりにするかは指導教員に相談すること）。
- ③ 修士論文概要書（日本語以外の概要書には日本語訳を必ず添付）の分量は、所属コースの定めにしたがうこと。
- ④ Waseda Moodle上の非正規科目「2020年度修士論文」内のレポートボックスにデータを提出すること。
ファイル名は「学籍番号_氏名_修士論文.pdf」（学籍番号は半角数字8桁、ハイフン以降は不要）とすること。ファイルサイズは、最大500MBまで受付可能。
期間中は何度でも提出できるが、最後に登録した内容を最終的な提出物とする。
提出方法の詳細は以下ページ掲載の「9月修了希望者：修士論文提出方法」を確認すること。

< 修士論文・修士論文概要書作成様式 >

- 順序： 1. 扉（修士論文概要書） 2. 本文（修士論文概要書） 3. 扉（修士論文）
 4. 目次（修士論文） 5. 本文（修士論文）

体裁：横書の場合

扉（修士論文概要書）

2000年度 修士論文概要書	
指導教員	教授
題 目	
早稲田大学大学院文学研究科 人文科学専攻 ○○コース	
氏 名	

扉（修士論文）

2000年度 修 士 論 文	
指導教員	教授
題 目	
早稲田大学大学院文学研究科 人文科学専攻 ○○コース	
氏 名	

体裁：縦書の場合

扉（修士論文概要書）

氏 名	早稲田大学大学院文学研究科 人文科学専攻 ○○コース	題 目	指導教員	2000年度
				修士論文概要書
			教授	

扉（修士論文）

氏 名	早稲田大学大学院文学研究科 人文科学専攻 ○○コース	題 目	指導教員	2000年度
				修 士 論 文
			教授	

※提出時の注意事項

- ◆ 提出期間を厳守すること。提出期間を過ぎた場合には受理しない。提出は、締切間際ではなく、十分余裕をもって行うこと（なお、PC 環境や通信ネットワーク混雑等の問題により提出できなかった場合は、本人責任となる）。
- ◆ PCで作成する場合、機器故障やデータの破損、消失等による提出の遅延は一切認めない。必ずバックアップ等の保全処置を講じておくこと。
- ◆ 提出は、作成者本人が行うこと

※最終試験（口述試験）に合格した修士論文については、図書館にデータ保存します。

※提出された修士論文の題目・学生氏名は文学研究科紀要に掲載します。また、各コースのウェブサイトにも掲載することがあります。不明な点は所属コース室にお問い合わせください。

以上